

この新聞は、青梅市内の小中学校のことをお伝えするために発行しています。「学校のトイレ新聞」と名付けたのは、子どもたちの目線に立って学校の問題を考えることを大切に、困っていてもなかなか言えないことにこそ、しっかり向き合っていく視点が大切だと思ったからです。

小中学校校舎 外壁が危険！ 点検と補修の対応は急務です

第一小学校では、冬休み中に校舎3階の外壁の一部が地面に落下する事故が起きました。幸い、けが人はいませんでしたが、大変危険な事故でした。

現在、第一小については、校舎南側全面の外壁工事が行われていますが、市内の全校でこのような事故を防ぐために、緊急に補修や「落下対策」の対応が必要です。



7割の校舎で 外壁が老朽化

市が行った劣化度調査では、第一小をはじめ10校が判定「C」、さらにひどい「D」が9校もあり、全体の7割の校舎の外壁に問題があることがわかりました(情報公開請求により判明)。



2019年度 **第四小 新町小** 乾式床は感染症対策にも有効！
第二中 霞台中 トイレ工事が完了しました

あと
16校

市内小中学校のトイレ工事の改修状況と予定

小学校

第一小 済
第二小 済
第三小 済
第四小 済
第五小 済
第六小 2023年

第七小 2023年
成木小 済
河辺小 2021年
新町小 済
霞台中 2021年
友田小 2022年
今井小 2023年

若草小 2021年
藤橋小 2022年
吹上小 2020年
中学校
第一中 2020年
第二中 済
第三中 済

西 中 2022年
第六中 2020年
第七中 2023年
霞台中 済
吹上中 2020年
新町中 2021年
泉 中 2022年

キレイになった第四小のトイレにお邪魔してきました



雨漏りもひどい



第四小の音楽室は、天井に穴が開き、下には「立ち入り禁止」ゾーンがつけられていました

このような風景が、あちこちの学校でも見られる状態のようです…。



西中の天井には捲れかけている天井が残されていました



かねてよりの雨漏りによって、昨年の台風以降、第三小では家庭科室の、西中と第四小では音楽室の天井が落下。新町中でも、体育館倉庫が激しく雨漏りしたとのこと。

市によると、小中26校中、20校で雨漏りが確認されています(9月予算決算委員会質疑での答弁)。「うちの学校も雨漏りしてます」、「子どもの気管支が弱いのでカビが心配」という声が生徒や保護者から寄せられました。

市民参加で老朽化対策の計画を

市は2021年度に、ようやく学校の老朽化対策の計画をつくります。計画期間は、同年から36年間という超長期で、学校ごとに建て替えか改修かを選ぶようです。青梅の未来に大きな影響がある計画だけに、私は、「市民参加で計画づくりを」と市議会で求めました。

地産地消でおいしい給食の実現を！

青梅市は、かつては根ヶ布と藤橋の2か所の給食センターで市内小中学校の給食をつくっていました。しかし、子どもの数が減少し、両施設の老朽化が進む中で、根ヶ布センターを建て替え、1か所のセンターに統合する計画です。

すでに根ヶ布センターは稼働を停止し、藤橋センターのみで給食をつくっています。それでも十分につくれるほど、子どもが減っていることに、危機感が強まりますが、このような状況を活かしていくことも必要と考えます。

私は、この機にセンターを建て替えつつ、同時に自校調理方式の学校を増やしていき(現在は建て替えの終わった第二小のみ)、作りたてで美味しい給食にしていくのがいいと、提案してきました。1か所で作る数が少なくなれば地元食材が使いやすくなるため、市が積極的に市内の野菜

などを調達して提供し、安心して魅力的な給食をおなか一杯食べてもらいたいと思います。こうすれば、給食費の値下げと、青梅の農業の振興・販路保障になると思います。

市は民間委託の方針

メリットも根拠もあまい

市は、給食センターの建て替えと同時に、センターの運営を民間に委託する方針です。安全面など心配な点が多いのに、「メリット」は具体的に示されず、経費削減の姿勢ばかりが目立ちます。給食について保護者や先生たちと、もっと一緒に話し合っ

日本共産党青梅市議団

青梅市議会議員

井上たかし

ご連絡は下記まで
090-8489-5260
inouetakashi99@gmail.com

